

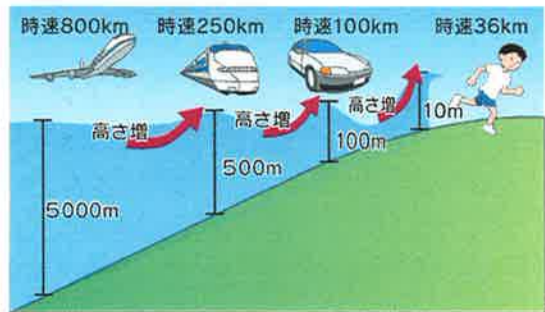
津波の備え

津波は地震発生後、数分から数十分で発生するおそれがあります。沿岸部では特に注意が必要です。

津波の心得

海岸付近で揺れを感じたり津波のおそれがあるとわかったら、すぐに避難することが大切です。

高台避難が第一！



陸上に押し寄せる津波は、走って逃げ切れるものではありません。また、津波は陸地に近づくにつれ波高が高くなるため、命を守るためには高い場所へ避難することが第一です。

警報・注意報が出たら避難・警戒を！

津波による災害が予想される場合、地震が発生してから約3分を目途に津波警報・注意報が発表されます。

| 警報の種類 | 予想される津波の高さ | |
|-------|------------|-------|
| | 高さの区分 | 発表する値 |
| 大津波警報 | 10m～ | 10m超 |
| | 5m～10m | 10m |
| | 3m～5m | 5m |
| 津波警報 | 1m～3m | 3m |
| 津波注意報 | 20cm～1m | 1m |

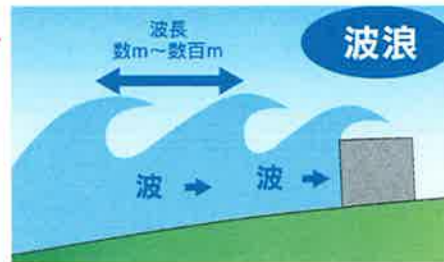
予想される津波の高さは5段階で発表されます。3mから5mの間の津波が予想されたら「予想される津波の高さは5m」と発表されます。

津波の怖さを知る

津波と波浪の違い



陸上のものを破壊しながら内陸まで一気に浸水



一つ一つの波の力が小さく、沿岸でくだける

津波の特徴

速い！

津波が見えてから逃げても間に合いません。

強い！

20cmの波でも足をとられることもあります。

何度も来る！

第2波以降が最大波高になることもあります。

引き波があるとは限らない！

いきなり波が押し寄せることもあります。

高波・高潮

TOPICS

台風や発達した低気圧により波浪が発生し、海面の高さが異常に高くなります。

台風に注意！

口頃から台風に注意し、台風が近づいたら気象情報や避難情報に注意しましょう。

海岸、川に近づかない！

高潮によって海水が進入してくるときは、猛烈な勢いで流れ込んでくるため危険です。

地震・津波の対策

地震発生時や発生後に身を守るためのとるべき行動を確認しておきましょう。時間の経過は目安です。状況に応じて臨機応変に行動しましょう。



まずは身を守る！



身の回りの安全確保！



避難の判断を！



高台へ避難



救護・消火活動



しばらくは警戒を



避難するときは

安全に避難をするために次の点に注意しましょう。津波の危険があるときはすぐに避難することが第一です。

